



ほかにはない
アンサーを。

悠

株主・投資家の皆さまへ

2017年 3月期 第2四半期 | No.52

Contents

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 01 ▶ CEOメッセージ | 17 ▶ 世界に広がるオリックス |
| 07 ▶ オリックスレビュー | 19 ▶ 株主さま広場 |
| 09 ▶ オリックス最前線！ | 21 ▶ 企業情報 |
| 13 ▶ おしえて！オリックス | 23 ▶ オリックス・バファローズ |
| 15 ▶ オリックス・ダイバーシティ | ニュース |

証券コード:8591

2017年3月期上期業績は、まずまずの結果

「事業」および「投資」を中心に安定的収益を伸ばすとともに
新規分野の着実な開拓に注力してまいります

2016年12月

取締役 兼 代表執行役社長
グループCEO

井上 亮



当期純利益は1,422億円、ROE12.2%

平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
2017年3月期上期業績についてご報告いたします。

2017年3月期上期の当期純利益は1,422億円、ROEは中期的な目標の11～12%を上回る12.2%となりました。前年同期には、米国の投資銀行Houlihan Lokey, Inc.の新規株式公開に伴う株式売却益および評価益を396億円計上しましたが、今期には前期ほどのキャピタルゲインの計上はなく、さらに円高による影響を受けたため、残念ながら前年同期比12%減という結果となりました。

上期における大きなサプライズは、英国のEU離脱決定でした。米国では金利引き上げの延期が9月に決定されました。日本においては、1月からのマイナス金利政策が継続しています。マ

イナス金利は、オリックスにとっては資金調達、特にプロジェクトファイナンスにおいて一定程度の恩恵を受けていると考えていますが、日本の実体経済への影響という観点では、十分な波及効果が見えていないのが現状です。

以上のように、マクロ環境は不透明な状況が続くものの、オリックスにとっては、この状況をビジネスチャンスと捉え、引き続き、成長戦略を保持していく所存です。円高になれば海外投資チャンスの拡大、円安になれば資産の流動化の加速になると考えています。

「事業」「投資」分野での取り組みが進捗

貸付金、リースを中心とした「ファイナンス」分野は、低金利に伴う利ざやの縮小が進行していた局面で、日銀によるマイナス金

中期的な経営目標 資本効率性と健全性を維持しながら、安定的な利益成長の実現を目指します。	利益成長	2018年3月期に当期純利益3,000億円を目指す
	資本効率性	ROE 11～12%を目指す
	健全性	信用格付A格の維持を目指す

利導入が決定し、一段と貸出競争に拍車が掛かっています。そのため、積極的に資産は伸ばしていませんが、「事業」と「投資」の分野においては、上期も一定の成果を挙げています。

インフラ(コンセッション)ビジネスでは、オリックスとフランスのVINCI Airports(ヴァンシ・エアポート)を中核とするコンソーシアムにより設立された関西エアポート株式会社が、関西国際空港および大阪国際空港の運営を新関西国際空港株式会社から引き継ぎ、2016年4月1日より、事業を開始しました。現在は、他のコンセッション関連事業分野からの引き合いも多く

いただいております、慎重に検討を進めています。

プライベートエクイティ投資においては、上期に5件の新規投資を実施するとともに、航空機事業においては、35機、総額1,800億円の投資を決定いたしました。

アセットマネジメント事業では、米国のBoston Financial Investment Management L.Pを買収いたしました。同社は、1969年に設立された米国最大手のLIHTCシンジケート*1で、2015年末時点で約78億ドルの預かり資産管理残高を有しています。また、オランダの資産運用会社Robeco Groep N.V.につ

きましては、これまでRabobankが保有していた口ベコの9.99%の株式を取得し、完全子会社化いたしました。

環境エネルギー分野では、メガソーラーの稼働が順調に進んでいます。2016年9月末時点で920MWが確保済みであり、うち510MWが稼働を開始しています。現時点では、メガソーラーの資産を積極的に売却することは考えていませんが、2012年7月に固定価格買取制度が導入されてすぐのプロジェクトを多く確保しており、相当の含み益があると認識しています。

不動産分野では、マーケットが好調なことから、新規投資よ

りも売却が先行するという認識に変わりはありませんが、専門性を生かせる施設運営事業の拡充や、パイオニアとして市場を開拓してきた物流施設事業の新規投資に注力していきます。

生命保険事業については、これまでの保険代理店、通信販売、銀行窓口販売というチャネルに加えて、直販チャネル*2にも取り組んでまいります。直販チャネルと通信販売を組み合わせた複合的な販売網を構築し、アフターフォローや商品選定のコンサルティングによるお客さまの満足度の向上と、さらなる保有契約数の伸展を目指します。

2018年3月期に向けた価値創造の道筋

ファイナンス	手数料関連の商品ラインアップを拡充し、サービス収入へのシフトを図る	
事業	環境・インフラ	・国内メガソーラーの稼働と自社電源開発に注力 ・アジア・米国などにおける再生可能エネルギー事業者の地位確立
	金融サービス	・生命保険の直販チャネル展開を推進
	メンテナンスサービス	・業界優位を生かした付加価値サービスの拡大、アジアでの拡大
投資	現物投資	・不動産は既存の開発案件、航空機はナローボディー案件に注力
	エクイティ投資	・ヘルスケア、IT、食品、生活支援サービス分野での投資積み上げ

期末配当予想28円、 通期51円は前期比11%増の水準

新規の投資案件については、引き続き数多くの引き合いをいただいております。今後も持続的な成長に向けた投資に資本を使わせていただきたいという考えに変わりはありません。しかしながら、資金調達環境の変化を捉え、現時点で一定程度の自社株買いを行ったとしても成長戦略に支障をきたさないと判断し、2016年10月26日の取締役会において、自己株式の取得に係る事項について決議いたしました。

業績が堅調に推移する一方、株価は長らくPBR1倍を下回っており、当社の株式を長期で保有している株主さまからも株価へのご意見を頂戴していました。この時期に自社株買いを行うことは、資金の効率化につながるとともに、当社が考える内在的企業価値との乖離を埋める意味からも有効

期比11%増の水準であり、通期の配当性向は25%を予定しています。

接続的な成長に向けて「事業」および「投資」を中心に安定的収益を伸ばすとともに新規分野の着実な開拓に注力してまいります。

用語解説

*1 LIHTCシンジケーター

Low Income Housing Tax Credit (LIHTC) とは、1986年に米国連邦政府によって制定された、低所得者向け賃貸住宅供給開発業者に付与される税額控除。LIHTCシンジケーターとは、LIHTC制度によって付与された税額控除の権利を売却し資金調達を図る住宅開発業者と、LIHTCを取得することによって税メリットを享受したい投資家のニーズを引き合わせ、自社の組成ファンドを介して運用を行う事業者。

*2 直販チャンネル

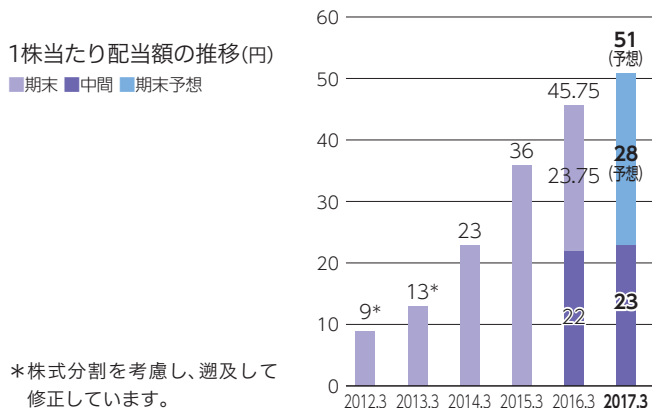
自社の営業社員がコンサルティング等を通じてお客さまに最適な商品を直接販売する方式。



であると判断いたしました。今後も、資本効率の観点等から、自社株買いも戦略のオプションとして排除はせずに考えてまいります。

2017年3月期の配当につきましては、中間配当は23円、期末配当予想は28円といたしました。通期51円(予想)は、前

今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

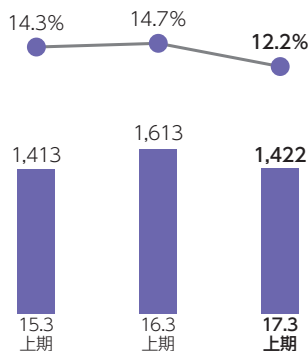


2017年3月期上期業績

- 当期純利益*1は前年同期比12%減の1,422億円
- ROEは12.2%、中期目標の11~12%を上回る着地
- 事業投資、リテール、不動産の3セグメントが増益

当期純利益*1とROE

■ 当期純利益*1(億円) ● ROE(年換算)



セグメント情報

	法人金融サービス		メンテナンスリース		不動産		事業投資		リテール		海外	
セグメント利益(億円)	216	199	231	197	337	354	365	520	321	355	979	515
	16.3 上期	17.3 上期	16.3 上期	17.3 上期	16.3 上期	17.3 上期	16.3 上期	17.3 上期	16.3 上期	17.3 上期	16.3 上期	17.3 上期
セグメント資産(億円)	10,685	10,344	6,993	7,242	7,539	7,051	5,990	6,958	34,732	33,254	21,721	20,515
セグメント資産ROA*2(%)	2.6	2.6	4.5	3.7	5.6	6.7	7.7	10.2	1.2	1.4	6.0	3.3

*1 「当期純利益」は「当社株主に帰属する当期純利益」を指します。 *2 税引き後

セグメント別 2017年3月期 上期のポイント

法人金融サービス	● 営業貸付金の残高減少の影響により金融収益が減少。 ● 弥生の収益貢献に加え、法人向け各種手数料ビジネスが拡大し、サービス収入が増加。
メンテナンスリース	● オペレーティングリース収益に含まれる中古車売却益が前年同期で減少。 ● 証券化による資産減少の影響はあるが、自動車リース事業の資産は増加基調。
不動産	● 活況な不動産市場を捉え売却を推進し、賃貸不動産売却益が増加。 ● 施設運営事業からのサービス収入も堅調に推移。
事業投資	● メガソーラー事業など環境エネルギー事業のサービス収入が順調に増加。 ● 第2四半期から「関西エアポート」が収益に貢献。
リテール	● 生命保険料収入・運用益が順調に増加。 ● 銀行の住宅ローン、カードローンの残高の拡大により金融収益が伸長。
海外	● 前年同期は、Houlihan Lokey, Inc.の新規株式公開に伴う売却益等を計上。 ● 円高の影響によりセグメント利益が円換算で減少。

オリックス最前線！

上半期の事業活動トピックスをご紹介します。



2016年
6月

法人向け『移動事務所車』、 全国でのレンタル提供を開始

オリックス自動車は、自社開発の「移動事務所車」のレンタルを、全国60拠点のトラックレンタル営業所にて開始しました。

移動事務所車は、営業用バンを改造して事務所機能を備えた車両で、事務所までの移動時間を削減して業務を効率化したいとのお客さまのご要望にお応えしたものです。2016年9月末までに全60拠点に計100台を配備しており、全国各地でさまざまな業種のお客さまへご提供しています。

トラックや特殊車両のリースで培ってきたノウハウを生かし、これからもお客さまのご要望に応じた装備を搭載した特殊車両の企画・開発を進めてまいります。

2016年
4月

ロボットレンタルサービス 「RoboRen」を開始

オリックス・レンテックは、2016年4月に法人のお客さまを対象にロボットレンタルサービス「RoboRen」を開始しました。食品、衣料品、化粧品の製造現場をはじめとした幅広い業界での利用が見込まれる協働ロボットのレンタルを皮切りに、今後、高い需要が見込まれる産業用、コミュニケーション用、介護用などの最新鋭ロボットのラインアップを拡充してまいります。

また、9月に開始したエンジニアによるお客さまのロボット選定のサポート、取り扱いに関するお電話でのサポートなどのサービスにも注力してまいります。



安全柵を必要とせず人と並んで作業ができるABB製「Yumi®」
(画像:ABB株式会社 提供)

2016年
4月

「特定疾病保障保険With[ウィズ]」販売開始

オリックス生命は、長期治療で休業を余儀なくされても罹患前と同等の生活水準を維持する保険として「特定疾病保障保険With[ウィズ]」

を開発しました。また、手ごろな保険料で一定期間の保障を確保したい方には、業界で初めて解約払戻金をなくした定期保障をご用意しました。がん、急性心筋梗塞、脳卒中を保障し、死亡保障がある特定疾病保障保険の定期・無解約払戻金型は、業界初となります。

これからも、多くのお客さまにお選びいただけるよう、市場のニーズを先取りした商品をご提供してまいります。



2016年
9月

ベトナムで民間最大手の 水力発電事業会社に出資

オリックスは、ベトナムで水力発電事業を営むBitexco Power Corporation(以下、BPC)の株式約50百万米ドル相当を、シンガポールの大手銀行United Overseas Bank Limitedのプライベートエクイティ投資部門であるUOB Venture Management Pte Ltd.と共同で取得することに合意しました。

BPCは、ベトナムにおいて不動産事業やインフラ事業を展開するBitexcoグループの1社であり、ベトナム全土で18カ所の水



力発電所を運営する民間最大手の水力発電事業者です。

これからも、国内外でのエネルギー事業で培った専門性をもとに、アジアでのエネルギー事業を強化していきます。

2016年
9月

オリックスハケ岳農園、 年間300トン出荷体制へ

オリックスハケ岳農園が運営する水耕栽培施設(第2期)が竣工し、葉物野菜を年間300トン出荷する体制が整いました。

オリックスハケ岳農園は、2015年9月より、太陽光利用型の水耕栽培施設において、ほうれん草やルッコラなどの生食用葉物野菜を生産しています。高齢化による担い手不足から、農産物の生産量の減少が課題となる中で、農業の大規模化、標準化、機械化などを通じ効率的な生産体制を構築していきます。



2016年
7月

グッドタイムリビングが今秋、京都に2棟連続オープン

オリックス・リビングは、今秋、京都府内に初めて、有料老人ホーム「グッドタイムリビング 嵯峨広沢」と「グッドタイムリビング 嵯峨有栖川」をオープンしました。

この2つの施設は、京都を代表する景勝地である嵯峨嵐山エリアに位置し、自然豊かな景色と昔ながらの古きよき街並みが残る閑静な住宅地に立地します。また駅から近く、京都市中心部への交通利便性の高さも兼ね備えています。「グッドタイムリビング 嵯峨広沢」は、重介護の入居者向けの居室として、専任スタッフを24時間配置し、見守りセンサーや壁収納型リフトなどの介護機器を導入する「スペシャルフロア」をご用意しました。「グッドタイムリビング 嵯峨有栖川」では、介護が必要な方の居室のほか、お元気な方向けの居室「アネックス」もをご用意しました。

これからもご入居者、ご家族の心を支え、高齢者の新しいライフスタイルを創造していきます。



グッドタイムリビング 嵯峨広沢



グッドタイムリビング 嵯峨有栖川

身近で遊んで学べる新しい水族館を目指して

神奈川県とのPFI事業である「新江ノ島水族館」で培ったノウハウを生かし、2012年から「京都水族館」と「すみだ水族館」を運営しています。

日本で初めて完全人工海水化を実現

アクセスしやすい内陸型水族館を運営

京都水族館は国内初*の内陸型大規模水族館として京都駅から徒歩約15分の梅小路公園内に、すみだ水族館は都市型水族館として東京スカイツリータウン内に位置しています。水族館は海水を利用するため、沿岸部に位置していることが多いですが、「お客さまが行きやすいところにつくる」ことが大切ではないかと考え、アクセスしやすい市街に水族館をつくりました。内陸型の水族館を実現するために、国内初の人工海水製造システムを採用しており、淡水を除く全ての水槽に人工海水を使用しています。同時に、施設内で海水を製造することで、海水の運搬に伴うCO₂の排出抑制にもつながっています。

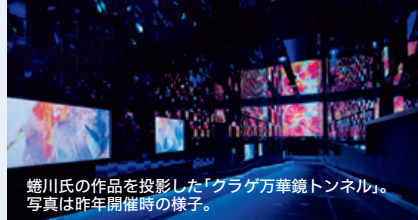
*オリックス不動産株式会社調べ。内陸型大規模水族館を沿岸部まで50km、延床面積10,000㎡と定義。

鑑賞する水族館から、体験する水族館へ

教育と娯楽を提供する場として

オリックスが運営する水族館は、自然や生態系を遊びながら学べる場所を目指しています。京都水族館は、京都の源流から海へのつながりを再現した12のエリアで構成され、多くのいきものが共生する生態系を再現するとともに、体験プログラムも随時行っています。すみだ水族館には、国内最大級*1の屋内開放のプール型水槽があり、ペンギンやオットセイを観察していただけるだけでなく、給餌や水槽の掃除風景なども間近でご覧いただけます。これからも、総合エデュテインメント*2型施設として、新しい水族館のあり方を提案していきます。

*1 オリックス不動産株式会社調べ。*2 エデュケーション(教育)とエンターテインメント(娯楽)を組み合わせた合成語。



蜷川氏の作品を投影した「クラゲ万華鏡トンネル」。写真は昨年開催時の様子。



期間中の特別メニュー「ふわふわクラゲソーダ」。5Fペンギンカフェにて販売中。

写真家・蜷川実花氏とのコラボレーション展示を、すみだ水族館にて2017年3月14日まで実施中。



何度でも足を運びたいと思える水族館であるために

水族館という空間を生かしてさまざまなプログラムを開催しています。例えば、すみだ水族館では、夜のペンギンたちの様子を双眼鏡でのぞく大人限定プログラムや、写真家・蜷川実花氏とコラボレーションしたクラゲの展示など、他にはない取り組みを行っています。

オリックス不動産株式会社 水族館事業部長 三坂 伸也

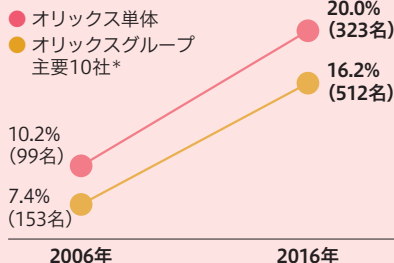
人材の多様性を尊重する ～女性活躍推進について～

オリックスでは、多様な人材を受け入れることで多様な価値観や専門性による「知の融合」を図り、新たな価値を生み出すという考えのもと、社員それぞれの能力を最大限に生かせる職場づくりを目指しています。特に、女性の活躍推進についてはいち早く取り組んでおり、出産・育児に関する支援制度は、法定以上の制度を導入しています。また、一時的に役割サイズを限定した職種へ転換できる「キャリアセレクト制度」や地域限定型社員が配偶者転勤に応じて勤務エリアを変更できる「配偶者転勤エリア変更制度」など、ライフステージに応じた柔軟な働き方を実現しています。

女性管理職比率は、20%に到達(2016年3月末時点)

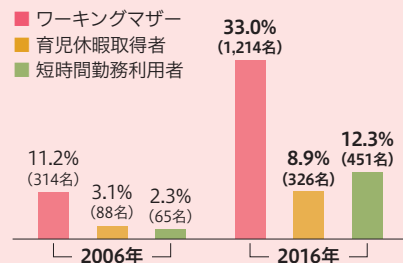
ワーキングマザー、育児休暇取得者ともに10年間で約4倍に増加

女性管理職推移



*オリックス、オリックス・レンテック、オリックス自動車、オリックス・クレジット、オリックス不動産、オリックス・システム、オリックス銀行、オリックス生命保険、オリックス環境、オリックス債券回収の10社合計。

ワーキングマザー推移(オリックスグループ主要10社*)



女性が個々の力を存分に発揮できるよう、
「自らが主体的にキャリアを築くことを支援する研修」を用意しています。

ORIX Group Women's Forum

女性のキャリア醸成を目的にセミナーを開催しています。若手の女性社員向けには、自らが主体的にキャリアを築く意欲を持つことを目的に、課長クラスの女性社員向けには、女性ならではのリーダーシップについて理解し、自らがその担い手としてさまざまな分野で活躍することを目的に実施しています。

ORIX Group Mom

産休中の社員を対象に、スムーズな職場復帰を支援する懇親会を年3回開催しています。参加者は先輩ワーキングマザーから仕事と家庭を両立するポイントなどを聞き、復帰後の具体的なイメージを掴む交流の場となっています。

夫婦参加型育児セミナー

0歳児の第一子をもつ社員を対象に、夫婦で仕事(キャリア)と家庭について考え、協力体制を築くためのコミュニケーション力を身につけることを目的として、「夫婦参加型育児セミナー」を実施しました。



私がダイバーシティ推進担当です！

さまざまなバックグラウンドを持つ社員が増えるなか、活躍のスタイルも多様化しています。社員の4割を占める女性についても、ライフステージに対応しながら一人一人がやりがいを持って活躍できる職場作りが大切だと思います。

オリックス株式会社
グループ人事部人財開発チーム長 脇 真由美



インド豆知識

日本ではあまり馴染みがないかもしれませんが、インドでもワインが生産されています。味もおいしくて価格も安いいため、日本人駐在員にもよく飲まれています。インドと言えば、熱波についての報道の影響から灼熱の地というイメージを持たれている方も多いと思いますが、実際にはブドウの栽培に適した気候であるカリフォルニアやスペインのような高原地帯も多く、ワインの生産に適しているそうです。ぜひ一度、インド産ワインをお試しください。



インドにおける オリックスグループのビジネス展開



■金融をはじめ、インフラサービスから自動車関連サービスまで展開

インドでは、1993年に資本参加したINFRASTRUCTURE LEASING & FINANCIAL SERVICES LIMITED（以下、IL&FS）と、1995年に設立したORIX Auto Infrastructure Services Limited（以下、OAIS）の2社を中心に、事業を展開しています。

IL&FSは、エネルギー、交通などのインフラサービス事業や、証券、投資銀行などの金融サービス事業を多角的に展開しており、2016年3月にはオリックスと共同で1,004MWの風力発電事業を開始しました。

OAISは、自動車リース、レンタカー、商用車担保ローン、従業員送迎サービスなど自動車関連事業を拡大しています。中でも、従業員送迎サービスは、IT企業の集積が進む都市を中心に需要が高まっています。

17

■OAISに常駐する唯一の日本人社員として幅広い業務を担当

OAISの日本人駐在員は2名ですが、常駐しているのは私1名です。主にオリックス本社の審査、財務、経理、監査や、海外事業を統括している本部など、関係するさまざまな部門との調整役を担っているため、業務は多岐にわたります。

幅広い業務をこなす必要があるため、健康管理は非常に重要です。食事には特に気を使っており、インド料理だけではなく日本食も積極的に取り入れています。私が駐在しているムンバイには、日本食レストランは少なく、スーパーでも日本の食材は手に入らないため、食材を日本から送ってもらうこともあります。

インドでは、GDPに占める農業の割合が大きいいため、モンスーンシーズンにおける降雨量が経済に大きな影響を与えています。今年は降雨量が多かったため、好景気となることが期待されています。



OAIS 東 明広

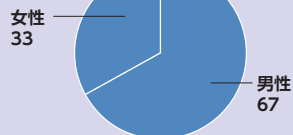
18

株主アンケート結果のご報告

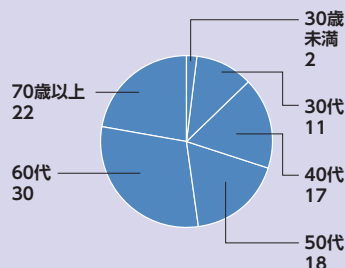
■ 実施期間: 2016年7月～2016年8月 ■ 返信数: 153,945通／返信率: 86%

2016年6月発行の株主通信「悠」No.51でご協力をお願いしましたアンケートに、前年比2.1倍となる15万通を超えるご返信をいただきました。いただいた貴重なご意見は、今後の情報発信や株主さま向けサービスの参考にさせていただきます。

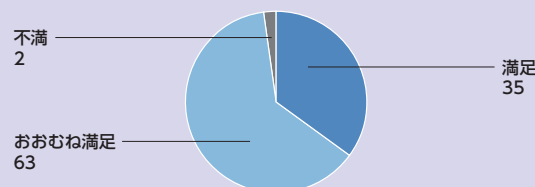
■ 性別 (%)



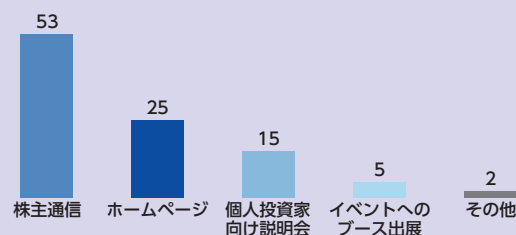
■ 年齢 (%)



■ 「悠」No.51の満足度 (%)



■ 当社のIR活動で充実してほしいもの (%)



株主さまから寄せられたご質問にお答えします。

Q

株主総会の決議通知は郵送されないのですか？

A

当社の株主総会の決議通知は、オリックスグループサイトのみでの掲載となっております。株主総会の開催当日にオリックスグループサイト「投資家情報」の「株主総会関連資料」に掲載いたします。

Q

「株主カード」の優待としてホテル・温泉旅館の割引がありますが、優待価格が問い合わせしなければ分らず不便です。目安の価格でもいいので教えてもらえますか？

A

ご意見ありがとうございます。今回より、優待価格の一覧をオリックスグループサイト「投資家情報」の「個人投資家の皆さまへ」に掲載いたします。

URL ▶▶ http://www.orix.co.jp/grp/pdf/ir/individual/investment/yutai-guide_2016.pdf

Q

オリックス・バファローズの2017年シーズン公式戦ホームゲームにおける「株主カード」の優待価格と対象試合を教えてください。

A

2017年シーズンの詳細が決まり次第、オリックスグループサイトに対象試合・席種・優待価格をお知らせいたします。なお、オープン戦、クライマックスシリーズ、日本シリーズについては優待の対象外となりますのでご了承ください。

IRスケジュール (本スケジュールは予定であり、変更になる可能性があります。)

2017年	1月	2017年3月期 第3四半期決算発表
	5月	2017年3月期 通期決算発表
	6月	第54回 定時株主総会 開催
	7月	2018年3月期 第1四半期 決算発表
	10月	2018年3月期 第2四半期 決算発表

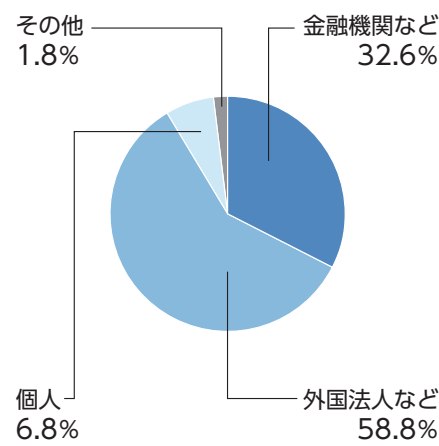
会社情報 (2016年9月30日現在)

会社名	オリックス株式会社		
設立	1964年4月17日		
代表者	取締役 兼 代表執行役社長・グループCEO	井上	亮
	取締役 兼 代表執行役副社長・グループCFO	小島	一雄
	取締役 兼 代表執行役副社長	馬着	民雄
従業員数(連結)	34,708名		
事業内容	多角的金融サービス業		
拠点数	国内 1,418拠点 海外 658拠点		
	*世界36カ国・地域に展開しています。		

株式情報 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	2,590,000,000株	株主数	186,282名
発行済株式の総数	1,324,058,828株		

所有者別株主構成比(株式数)



オリックスグループサイト
個人投資家の皆さまへのご紹介



オリックスグループをよりご理解いただくための各種情報を掲載しています。最新決算情報や株主優待に関する情報も掲載しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。

オリックス 投資家情報 検索

<http://www.orix.co.jp/grp/ir/individual/>

株主メモ

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11

0120-232-711 受付時間:9:00~17:00 (土・日・祝日休み)

上場金融商品取引所

東京証券取引所市場第1部 [8591] / ニューヨーク証券取引所 [IX]

株式事務に関するお問い合わせ先

株主さまの各種手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)の窓口については、ご所有の株式が記録されている口座によって異なりますので、ご注意ください。

証券会社に口座を開設されている株主さま

お取り扱い口座のある証券会社にお問い合わせください。

「特別口座」に記載されている株主さま

当社の口座管理機関(兼 株主名簿管理人)である三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部(上記)にお問い合わせください。



©ORIX Buffaloes



たくさんのご声援、
ありがとうございました。

福良監督からのメッセージ

今季は守備面でも攻撃面でも細かいミスからゲームを落とすことが多く、悔しさしか残らないシーズンとなりました。この結果を真摯に受け止め、来シーズンの反攻に向け、チームは始動しています。選手一人一人が目標を持ってレベルアップを図り、コーチ陣は彼らの能力を引き上げることで、チーム一丸となって優勝を勝ち取りたいと思います。バファローズを応援してくださる皆さまの期待にお応えできるように頑張ります。

2016年プロ野球ドラフト会議

10月20日に行われたドラフト会議では、計14名の選手を指名しました。1巡目で指名した山岡泰輔選手は、身長172cmと小柄ながら最速152kmの



福良監督(左) 山岡選手(右)

直球と多彩な変化球を武器に強気な投球スタイルが持ち味の社会人No.1右腕で、福良監督からは早くも先発ローテーション入りを期待されています。バファローズの新戦力にもご注目ください。

オリックス株式会社
経営企画部
グループ広報部

〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル
TEL: 03-3435-3121 FAX: 03-3435-3154
URL: <http://www.orix.co.jp/grp/ir>